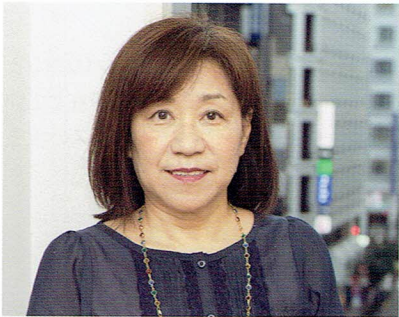


Case Study

03/25

スキルのある障害者と企業の橋渡しをコーディネート 障害者の在宅就業の広がり 今後も期待

発注者 有限会社アリア



代表取締役 松本 すみ子氏

技術的な適正や予算等を総合判断し、企業と障害者支援団体のマッチングを提案

松本すみ子氏が代表を務める有限会社アリアは、2000年の設立以来、シニア世代の動向分析・調査、ライフスタイルの提案を行い、講演、コンサルティング、講座・セミナーおよびシニアコミュニティの企画・運営、執筆などを手掛けている。シニア世代が、長い第二の人生を地域活動や仕事で、自分らしく、生き生きと暮らすためのアドバイスや提言を行い、そのための環境を整えることを目的とする企業である。

障害者の在宅就業支援団体である社会福祉法人東京コロニーとは、ホームページや名刺等の広報ツールの制作を発注して以来の関係である。その他にも松本氏がコンサルティングしている複数の企業を紹介している。その1つが洋菓子メーカーの「荃工房」である。

「荃工房の豊島さんとは取引以外にも長い付き合いがあります。お互いに信頼できるパートナーのような存在ですので、何か困ったことがあれば相談し合うような関係です。ウェブサイト制作にあたり、多忙なことはもちろん、社内にノウハウがないということでしたので、専門スキルを持った在宅就業の障害者への発注を提案しました。もちろん、当社のコンサルティング実績をもとに技術的な適正や予算を総合的に判断してのことです。また荃工房の『アトピー等の体質に配慮した材料を使用した洋菓子を製造する』というコンセプトから、障害者の在宅就業への理解も早そうだったというのも理由の一つですね。」



団塊シニア世代のためのWeb情報誌

密な連絡体制によるスムーズな業務進行

荃工房のウェブサイト制作は、東京コロニーを介して在宅就業の障害者である古関氏へ発注されることになったが、発注後の業務において何か不都合が生じたことはないのだろうか。

「私としてはあくまでビジネスとして、古関さんと東京コロニーをご紹介していますので、発注者である荃工房さんにご迷惑がかかるようなことが無いよう常に配慮しています。予め全ての関係者が納期や業務内容を十分確認した上で、メールでのやり取りを中心に仕事を進めます。メールの宛先には荃工房さんだけでなく私や東京コロニーも入っていますので、問題が起こればすぐに気が付く環境です。ただ、これまで業務に支障をきたしたことは一度もありません。古関さんはご自身の方からこまめに連絡をくださいますし、仕事が的確で文章も丁寧で分かりやすいため、やり取りが非常にスムーズなのです。また個人的に、彼の制作に関するセンスも非常に良いと思っています。この点では、もはや障害の有無は関係ないと思います。」

障害者の技術・経験を活かすことができる環境整備が求められている

松本氏はこのように話すとともに、日頃から自身の講演でも障害者の能力活用の有意性について発信しているという。

「障害の有無に関わらず、能力のある方にはより多くのチャンスが巡ってくるべきです。昨今、日本の労働人口の減少が社会問題として叫ばれていますが、今こそ意欲ある障害者の技術や経験を活かす時ではないでしょうか。周囲のサポートさえあれば、健常者と同等もしくはそれ以上の成果を仕事で上げることができると思います。やりたいことをどんどん実現させていっていただきたいです。また同時に、障害者支援団体の皆様にも、就業環境の整備や業務受注のための創意工夫に引き続きご尽力いただけることを願っています。」

発注者情報

■団塊シニア世代が自分らしくいきいきと暮らせる社会の実現をサポート

松本すみ子氏が代表を務める有限会社アリアは、2000年の設立以来、シニア世代の動向分析・調査、ライフスタイルの提案を行い、講演、コンサルティング、講座・セミナーおよびシニアコミュニティの企画・運営、執筆などを手掛けている。シニア世代が、自分らしい仕事でいきいきと暮らすことができる環境を創ることを目的とする企業である。

有限会社アリア

<http://www.arias.co.jp/>

〒104-0061

東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5F